



使用済み切手を 岐阜信金が寄贈

県社協に

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）は、職員らがボランティア活動で集めた使用済み切手などを同市下奈良の県社会福祉協議会に寄贈し

た。

収集ボランティアは同金庫が1997年に始めた取り組み。各営業店窓口に収集箱を置き、今年は使用済み切手4万6217枚、ベルマーク2116枚、使用済みプリペイドカード1024枚、書き損じはがき83枚を集めた。

同金庫の奥村順一理事・営業戦略部長「写真左」が同協議会を訪れ、小林政人常務理事に目録を手渡した。小林氏は「ボランティア支援に使いたい」と話した。

切手などは換金して県内のボランティア団体の活動費に充て、ベルマークは収集に取り組む県内の学校に寄贈する。（河合修）